

あいてをして、かかわって、こころもからだもぽっかぽか

所属	岐阜県高山市立東小学校	実践者	山田 真沙美
対象	小学1年生	時間数	9時間
場所	教室・校庭	実践教科	学級活動・生活・道徳・図工
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーナの様子から違いや同一性を見つけて関心を持ち、日本とのかかわりを知る。 ・他者と自分から優しく温かい関係を築こうと行動することができる。 		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	◆ガーナってどんな国？ ガーナの学校や町、人々の様子を見て関心をもつ。(学年合同) ①世界にはたくさんの国があることを知る。 ②ガーナの町や子ども達の様子を知る。 ③振り返り(気付いたこと、やってみたいとおもったこと)	パワーポイント資料 パワーポイント資料 ガーナクイズ ガーナ産チョコレート
	2	ガーナと日本につながりがあることを知る。(他校交流者含む) ①アイスブレイキング(パスedayライン)(自己紹介) ②ガーナクイズ・ガーナ体験をする。(頭でものを運ぶ) ③ガーナのカカオが日本で使われていることを知る。 ④ガーナで作られたチョコレートを食べる。 ⑤振り返り(気付いたこと、思ったこと)	パワーポイント資料 ガーナの写真 対比表
	3-4	◆ガーナと同じところと違うところ？ 写真を見て同じところと違うところを見つける。 ①アイスブレイキング(私が知ってる世界の国を伝えてみよう) ②グループで写真を見て同じところと違うところを見つけ、発表する。 ③振り返り(同じところや違うところがある。気持ちはどうなのか考える。)	パワーポイント資料 ガーナで作った紙飛行機 の材料 紙飛行機を作った 動画
	5-6	◆ガーナの人と気持ちは同じかな？ 紙飛行機を作って飛ばし、ガーナの子達と同じ気持ちか確かめる。	パワーポイント資料 ガーナの子ども達の ダンス動画
	7-8	①ガーナで教師と紙飛行機を飛ばす子ども達の様子を振り返る。 ②飛行機を作って飛ばす。 ③振り返り(ガーナ子達と気持ちが同じだったかどうか確認する。)	紙飛行機 の材料
	9	◆はじめてあう人となかよくなるにはどうしたらよいらろう ガーナの子も達のダンスと一緒に踊る教師達の様子を見て考える。 ①アイスブレイキング(ガーナの授業で心に残っていること) ②ダンスの様子を見て感想を伝え、一緒に踊ってみる。 ③踊った感想を伝え、もし先生達が踊らなかつたらどうなったか考えて伝える。 ④振り返り(初めて会う人と仲良くなるためにどうしていきたいか考える)	紙飛行機 の材料
		◆となりのクラスの仲間ともとなかよくなる 自分から関わることを意識し、教師がガーナで教えていた様子を参考に隣のクラスの子に紙飛行機の作り方を教える。 ①めあての確認 ②紙飛行機を教えながら作り、一緒に飛ばす。 ③振り返り(隣のクラスの子から感想をもらい、自分達も活動を振り返る)	
成果	授業実践の後、児童は来年度入学する園児たちと交流会を行う。初めて会う人と関わることは、恥ずかしいし勇気がいるけれど、自分から関わっていくことが他者との仲を深められることに気付き、行動しようとする児童が多かった。またガーナだけでなく、他の国々の様子も知りたいと願う子ども達が増えてきた。		
課題	自分から関わる大切さを理解していても、勇気を出して他者に関わっていくことが難しい児童もいる。日常の中で新しい仲間と関わりあう活動を増やし、自信をもたせていきたい。さらに自分とは違う価値観や互いの良さを認め合い生かしあえるような関係を今後はより一層育んでいきたい。		
備考	1年生で世界の知っている国の数も少ない。教室の中に世界地図や地球儀、ガーナの楽器などを置いて世界を身近に感じ、興味をもてるようにした。国語の「しらせたいな、みせたいな」という単元の紹介文を書く活動では、ガーナの楽器のことを取り上げる児童がクラスの三分の一以上はいて、ガーナへの関心度の高さも伺えた。		

[授業実践の詳細]

1 時限目「ガーナってどんな国？」

1 子どもの活動の流れ

- ① 世界にはたくさんの国があることを知る。
地図をみて世界にはたくさんの国があることや日本の国土の大きさ、大陸について知る。
- ② ガーナの町や子ども達の様子を知る。
写真をみて人々の様子、学校の様子をみて、自分たちとの違いや疑問、もっと知りたいと思ったことを見つける。
- ③ 振り返り(気付いたこと、やってみたくておもったこと)
自分たちがやってみたくておもったことや、気になったこと、もっとやってみたくておもったことを見つける。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 世界地図を見た子ども達は「日本はこんなに小さいのか」と驚いていた。この授業をして以来、教室内に世界地図や地球儀を置くと、自分たちで聞いたことがある国を探すようになった。また、生活の中で「ガーナではどうなの？」と比較しようとする児童が増えた。
- ◇ 子ども達に資料を見て心に残ったことを聞くと、紙飛行機を飛ばす様子やガーナの校庭の広さや女の子のアンペという遊び、なかなか馴染みのないリズムで踊るダンスの様子に興味が集まった。水が簡単に手に入らない様子や学校のトイレが外にあって屋根がない様子にとっても驚いていた。また、自分たちとの皮膚の色の違いについて気になっている児童もいた。
- ◇ あまり見たことのない様子にふれ、子ども達は関心をもって一時間を過ごすことができた。また、この授業は2学期最初の学年集会の時間に行った。私がガーナに行って嬉しかったこと(あいさつをたくさんしてくれた。言葉が通じなくても、かかわることで気持ちが通じ合えてうれしかった)を紹介し、児童に自分からあいさつをしたり、自分の考えを伝えたりして、他者とのかかわりをもっと増やしたいという教師の願いから作った「自分から知り、自分から動く1年生」という2学期の1年生スローガンを共通理解することにつなげることができた。

3 使用した教材

<教材1> パワーポイント資料

この時限のねらい

- ① 世界にはたくさんの国があることを知り、ガーナという国に関心をもつことができる。
- ② 写真の様子を見てもっと知りたい、やってみたくておもったことを見つけることができる。



みんなでとぼしっこしたよ



うれしかったこと

- ・たくさんあいさつ。
- ・ことばがすくなくても
きもちがつうじあえた。

なぜ、あいさつしてくれた??
きもちがつうじあえた?

2 時限目「ガーナってどんな国？」

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレーキング(バースデイライン)(自己紹介)
 - ・1~31まで、自分の誕生日の日の順に並ぶ。
 - ・班になって自己紹介(〇〇が好きな~です)をする。〇〇は食べ物とする。
- ② ガーナクイズ・ガーナ体験をする。(頭でものを運ぶ)
 - ・班にパワーポイントの画像と同じクイズをプリントして班に1枚ずつ渡す。
 - ・クイズを全員で一緒に確認して、自分が考えた答えを一斉に指で指す。
 - ・たらいを用意して頭で運ぶ。
- ③ ガーナのカカオが日本で使われていることを知る。
 - ・ロッテのガーナチョコレートの名前の由来を紹介したり、ガーナのカカオが船で約1か月かけて日本に運ばれていることを知る。
- ④ ガーナで作られたチョコレートを食べる。
- ⑤ 振り返り(気付いたこと、思ったこと)

この時限のねらい

自分たちの身近なところで日本はガーナとつながっていたことを知る。

ガーナクイズ

だい4もん

①ガム

②チョコレート

③キャラメル



2 子どもの活動の成果・反応

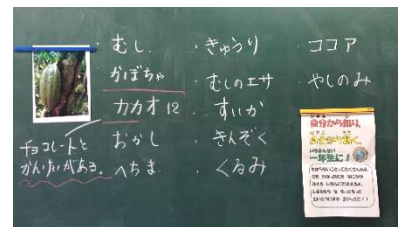
- ◇ アイスブレーキングでバースデイラインに挑戦した。小学校1年生だったので、やりながら段階を設けた。

①口では言わず、生まれ月の順番もあり→②口で言ってもよい。自分で仲間に聞きながら一緒に考えて並ぶ→③生まれ月は関係なく、自分から仲間に聞きながら並ぶ

条件を少なくし、口で伝えて行うことで、自分から聞いたり、わからない子に教えたりする姿が自然に生まれたことは、この単元で目指す子どもの姿にもつながった。並び終わった時に感想を聞くと、「聞くのは恥ずかしかった」と振り返る児童が多かった。並び方が一つずれてしまったところもあったが、最後まで並べたことを喜んでいた。

- ◇ パワーポイントで、前時を振り返りながらクイズをした。また、カカオの種のおいをかいたり、触ったりした。感想では「いろいろな形がある」「チョコレートのにおいがする」「ちょっと酸っぱいにおいがする」と振り返った。たらいを頭にのせる体験では、「むずかしい」「ガーナの人たちは物をたくさんせているから、すごい」と振り返っていた。全員が体験する時間の確保が難しかったので、教室の後ろに体験コーナーを設けて体験できるようにすると、休み時間に挑戦する児童の姿もあった。

- ◇ ロッテのガーナチョコレートのパッケージを見せて「ガーナって書いてあるね」と話すと「このチョコレートはガーナで作られているの?」と興味深々であった。カカオの実の写真は残暑見舞いのクイズで出したが、自分たちで調べたり、聞いたりした子が多かった。子ども達の予想は「へちま」「カカオ」「虫」「金属」で「カカオ」が多かった。カカオがチョコレートの原料であることもわかっていたが、種が原料であることにとても驚いていた。



3 使用した教材

- <教材2> カカオの種
- <教材3> パワーポイント資料
- <教材4> ガーナクイズ
- <教材5> ガーナ産チョコレート

3-4 時限目「ガーナと同じところと違うところは？」

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイキング(私が知ってる世界の国を伝えてみよう)
私は〇〇という国を知っています。△△が有名です。と有名なことは知っていれば加える。
- ② グループで写真を見て同じところと違うところを見つけ、発表する。
一枚の写真をグループで私達と同じところ、違うところ探して対比表プリントに書く。そのあと全体で共有する。
- ③ 振り返り(同じところや違うところがある。気持ちはどうなのか考える。)
生活の仕方の違い、様子の違いなど周りの様子から「人」について考える。

2 子どもの活動の成果・反応

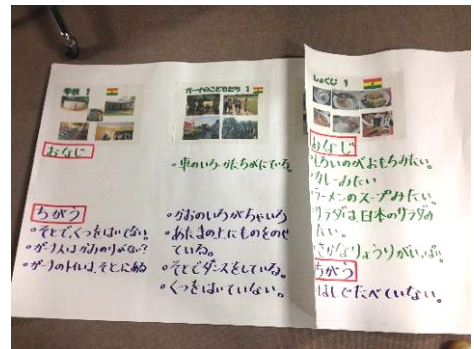
- ◇ 7グループでそれぞれ1枚の写真を見て、日本と同じ、違うところを探して対比表に書いた。その後、全体交流をして、パワーポイントを見ながら付け加えることをした。「ガーナの人はご飯を手で食べている」と違う点で話した児童に「でも、ぼくたちもパンやおにぎりは手で食べるよ」と付け加えて全体の学びをさらに深めることもできた。
- ◇ 同じところよりも、違うところの視点がよく出ていた。「皮ふの色が黒いけど、日焼けしたのかな。」「外にいるけど、裸足の子が多いよ。靴は履かないのかな」。違いから疑問も生まれやすかった。
- ◇ 違いに多く目が行く中で、「ガーナの子たちの気持ちはみんなと同じか違うのか」を考えた。みんなが楽しいと思ったことは、ガーナの人も楽しいと感じるのか、悲しいと思ったことは悲しいと思うのだろうか。すると、「同じ人間だから同じじゃないかな」という反応が返ってきた。そこで、子ども達が一番興味をもっていた、紙飛行機を作って飛ばし、ガーナのみんなと同じように楽しく感じるのか次の時間に試してみることにした。

3 使用した教材

- <教材6> 対比表
- <教材7> ふりかえりシート(プリント)
- <教材8> パワーポイント資料

この時限のねらい

- ・写真を見て私達と同じところと違うところを見つけることができる。
- ・人の気持ちはどうなのか予想することができる。



5-6 時限目「ガーナの人たちと気持ちは同じかな？」

1 子どもの活動の流れ

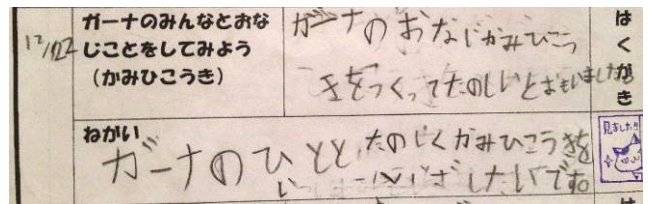
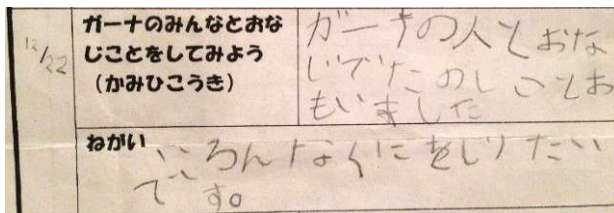
- ① ガーナで教師と紙飛行機を飛ばす子ども達の様子を振り返る。
ガーナで紙飛行機を飛ばしている様子が楽しそうだったことを振り返る。
- ② 飛行機を作って飛ばす。
グループになって、説明を聞いて個々で作る。
- ③ 振り返り(ガーナの子達と気持ちが同じだったかどうか確認する。)

この時限のねらい

紙飛行機を作って飛ばし、ガーナの子ども達と同じように、自分たちも楽しいと感じるのか気持ちを確かめる。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 作り方を確認して、一緒に紙飛行機を作った。紙にストローをつけるところが難しい。グループでそれぞれ個々に作ったが、自分から「ここはどうやって貼るの?」とグループの仲間に聞きながら進めることができる子もいれば、教師を頼りにする児童もいた。できるだけ仲間に自分から聞いていけるように「〇〇さんに聞いてごらん。上手に作っているよ」と言ったり、「〇〇さん上手にできたから、手伝ってあげたら」と話したりすると、グループを越えてかかわりが広がっていった。
- ◇ 外に出て飛ばすと「やっぱり楽しい」「ガーナの子達と同じ気持ちになった」と振り返ることができた。そして、住むところが違っても、身体の色が違っても、気持ちは同じなのだと感じると共に、ここに自分たちも嫌なことをされたら嫌な気持ちになるし、嬉しいことをしてもらったら嬉しい気持ちになると振り返ることができた。



3 使用した教材

- <教材9> ガーナで作った紙飛行機の見本と材料
- <教材10> ガーナで紙飛行機を飛ばす写真

7-8 時限目「はじめてあう人となかよくなるには、どうしたらよいだろう」

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイキング(ガーナの授業で心に残っていること) 今まで見てきた、やってきたことで心に残っていることをグループの仲間と伝えあう。
- ② ダンスの様子を見て感想を伝え、一緒に踊ってみる。
ガーナの子も達が「Head, Shoulder, Knees, And Toes」の歌を日本語で歌っている様子と、別の曲を披露している様子をビデオで見て気付いたことを伝える。そして、一緒に踊ってみる。
- ③ 踊った感想を伝え、もし、画面の中で先生達が踊らなかつたらどうなったか考えて伝える。
日本の教師たちが一緒に踊っている様子が楽しそうだったが、もし踊らなかつたらどうだったか考える。
- ④ 振り返り(初めて会う人と仲良くなるためにどうしていきたいか考える)

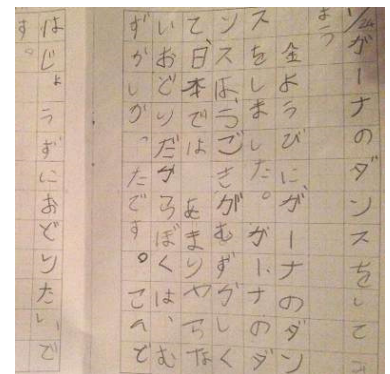
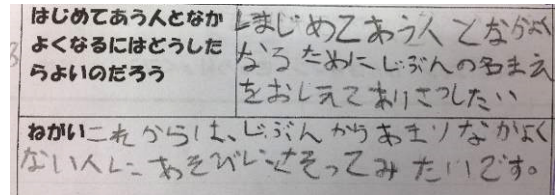
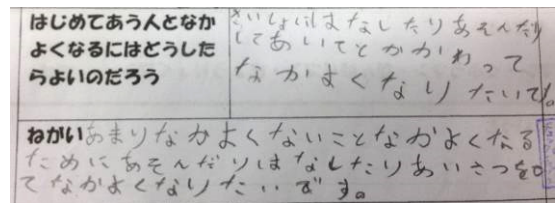
この時限のねらい

ガーナの子も達のダンスと、一緒に踊る教師達の様子を見て、仲良くなるにはどうしたらよいか考えることができる。



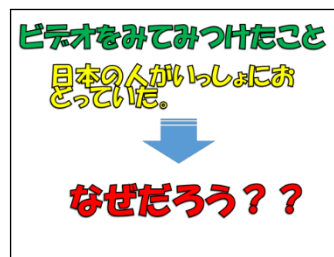
2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ ガーナの授業で心に残っていることはほとんどが紙飛行機のことであった。また、ダンスの様子やご飯を手で食べている様子、頭に物をのせて運んでいる様子も印象深かったようであった。
- ◇ ダンスの様子を見た時、日本に馴染みのないリズムに面白さを感じつつも、自分が踊るには難しさや恥ずかしさを感じたと振り返る児童が多かった。しかし、恥ずかしいから難しいから、上手にできないからと言ってやらなかったら、みんなが笑顔にならなかつたし、楽しい気持ちにもならなかつたと振り返っていた。
- ◇ 初めて会う人と話したり、何かをしたりするのはとても勇気がいる。でも自分からかかわっていかなかつたら仲良くなれない。だから自分からあいさつをしたり、まだ仲良くない人を自分から遊びに誘ったりしたいと振り返ることができた。



3 使用した教材

<教材11> パワーポイント資料(ガーナの子も達のおもてなし動画を含む)



9 時限目「となりのクラスのなかまと もっとなかよくなろう」

1 子どもの活動の流れ

- ① めあての確認
自分からかかわって楽しいな！仲良しだな！と隣のクラスの児童に思ってもらえるように一緒に作ることを確認する。
- ② 紙飛行機を教えながら作り、一緒に飛ばす。
ガーナで紙飛行機を作っていた様子を参考に、自分と同じグループ番号の隣のクラスの児童に教える。
- ③ 振り返り(隣のクラスの子から感想をもらい、自分たちも活動を振り返る)

この時限のねらい

自分からかかわることを意識し、教師がガーナで教えていた様子を参考に隣のクラスの子に紙飛行機の作り方を教える。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 隣のクラスの仲間と もっと仲良くなりたいと思っていた子ども達。作りやすいように支えたり、助言したり失敗しても「大丈夫」と励ます様子があった。また、作り方を忘れてしまった時も、自分から仲間に聞いて何とか作り上げようとしている様子もあった
- ◇ 振り返りでは、「〇〇さんが優しく教えてくれたので楽しかった」という反応を隣のクラスから聞いて、自分たちのめあてが達成できたことと喜ぶ児童もいた。また、自分たちの振り返りでも、「楽しそうに作って遊んでくれてよかった。」「〇〇さんがありがとうと言ってくれて嬉しかった」と振り返ることができた。
- ◇ この授業の後は、保育園や幼稚園の年長児との交流を控えている。今回の経験を活かして、年長児に自分からかかわっていくこと、そして仲良しになった気がする、楽しい気持ちになったと思ってもらえるように取り組もうと、学年で新たな目標に向かって進む1歩となった。



3 使用した教材

<教材9> ガーナで作った紙飛行機の見本と材料

全体を通して

1 授業の様子

- ◇ ガーナという新しい国との出会いから、自分たちの生活やかかわりについてあらためて振り返り、活動することができた。自分からかかわっていくことは勇気がいるが、大切なことだと感じる児童が多くいた。子ども達のグループ活動も活発になり、自分から仲間を誘ったり、自分の気持ちを伝えたりする様子も増えた。今後は、新しい出会いに限定せず、自分とは違う価値観、互いの持ち味を認め合い、互いの持ち味をいかしあえるような仲間関係をさらに育んでいきたい。

2 参考文献・資料

- 1) 世界の国を知る・世界の国を学ぶ「私たちの地球と未来 ガーナ共和国」
(公益財団法人 愛知県国際交流協会)